宗方校区社会福祉協議会

地　域　福　祉　活　動　計　画

宗方校区社会福祉協議会・大分市社会福祉協議会

ごあいさつ

宗方校区の皆様には、常日頃から宗方校区社会福祉協議会の活動にご支援、ご協力を頂いており感謝申し上げます。

近年、少子高齢化や核家族化が急速に進み、家族や地域で支え合いの弱体化や住民同士の絆や繋がりの希薄化が進むなど地域の状況は大きく変化しております。此処、宗方校区に於いても例外ではなく、様々な課題が山積していることと存じます。

こうした中、地域住民の誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、地域で課題となっていることに対して住民同士の助け合いによって解決できる取り組みが必要と考えています。

そこで、今回、当校区社協では、地域住民の声を聞き、話し合いを行い、住んでよかった支え合い、助け合いの宗方校区にするため、「宗方校区地域福祉活動計画」を策定いたしました。

今後、この計画を着実に実施し、宗方校区の福祉活動の推進に努めてまいる所存でございます。

また、計画を策定するにあたりご尽力いただきました関係者並びにご意見をお寄せいただきました皆様に、感謝を申し上げ、ご挨拶といたします。

宗方校区社会福祉協議会
会　長　　安東　幸吉

目　次

第１章　はじめに 1

（1）計画策定の背景 1
（2）大分市社会福祉協議会とは 1
（3）校（地）区社会福祉協議会とは 1

第2章　宗方校区について 2

（1）宗方校区の概要 2
（2）校（地）区社会福祉協議会について 2
（3）人口推移 2
（4）ふれあい活動（小地域福祉ネットワーク活動）の現状 3
（5）高齢者サロンについて 5
（6）老人会について 6

第3章　ふれあい対象者に関する実態調査 7

基本目標1：「地域のつながりをつくる」に関する設問 8
基本目標2：「地域福祉の担い手をつくる」に関する設問 10
基本目標3：「困りごとを深刻化させない」に関する設問 12
基本目標4：「安心・安全をつくる」に関する設問 15

第4章　宗方校区の活動計画と策定までのプロセス 16

（1）目標と具体的取り組み 16
（2）計画策定メンバー 10
（3）実施経過 12

第5章　資料編 22

（1）他の活動紹介 22
（2）実態調査票 27
（3）実態調査集計結果 30

第１章　はじめに

（1）計画策定の背景

宗方校区は、大分市中心部の南西に隣接した地域で、大分川右岸は七瀬川の合流地点に位置し、北側には由布山、鶴見山、高崎山、南側には宇曽山、霊山、本宮山を臨むことができます。台地の上に大型団地が点在していますが、田園の集落が残っており全体的に長閑な地域です。

時代の変遷とともに、地域の様子や人と人との関わり方も少しずつ変わっていますが、今も昔も地域を支えてきたのは、校区に対する愛情と人と人とのつながりです。

私たちは、先輩たちが守り育ててきた地域の絆を、さらに太く育て次の子どもたちの世代に引き継いでいくため、今回、大分市社会福祉協議会とともに、「宗方校区福祉活動計画」を策定いたしました。

誰もが住みたくなる町、いつまでも住みたくなる街・宗方校区を目指してまいります。

（2）大分市社会福祉協議会とは

社会福祉協議会は、社会福祉法第 109 条に規定された「地域福祉の推進を目的とした団体」で、民間組織としての自主性と広く住民や社会福祉関係者に支えられた公共性という 2 つの側面をあわせもった、民間の非営利組織です。社協は、地域の中の課題の把握に努め、組織構成員とともに考え、協力して解決を図ることにより、住民全体の地域福祉の向上を目指しています。

（3）校（地）区社会福祉協議会とは

小学校区や中学校区等を基本に、自治会、民生委員・児童委員、老人クラブ、子ども会、校区内のボランティア等の地域住民で組織されている団体です。大分市社会福祉協議会との連携のもと、市内に 45 の校（地）区社会福祉協議会が組織されており、各地域の特性を考慮した個性ある自主的な福祉活動〔ふれあい活動（小地域福祉ネットワーク活動）や、校区単位での子育て支援や地域住民の交流行事など〕を展開しています。

第2章　宗方校区について

(1)宗方校区の概要

◇宗方校区は大分市中心部の南西に隣接しており、大型団地が点在していますが、田園集落が残る、長閑な地域です。

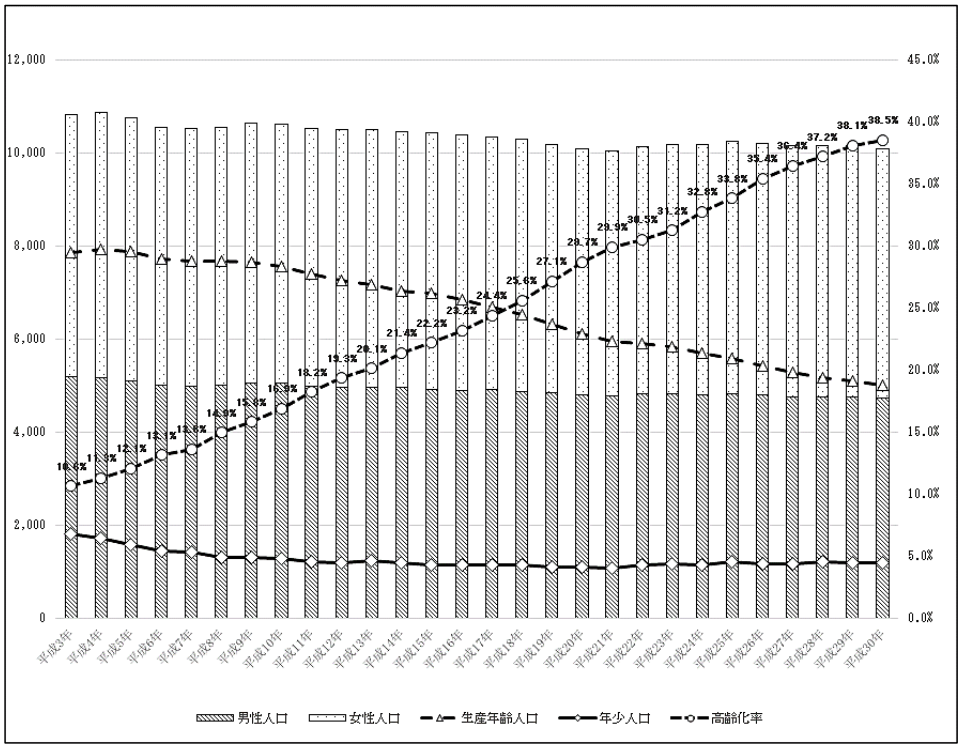
◇13 の自治会区と 18 の民生委員児童委員区、ボランティア団体等と連携し、「地域福祉の共助の核」として様々な事業に取り組んでいます。

(2)校(地)区社会福祉協議会について

◇平成 4 年に設立されました。

(3)人口推移

◇性別人口・生産年齢人口・年少人口・高齢化率の推移



資料：大分市住民基本台帳人口（各年代 9 月時点※一部 3 月）

（4）ふれあい活動（小地域福祉ネットワーク活動）の現状

①ふれあい対象者　　472 人

②ふれあい協力者　　379 人

③協力者のいない対象者　　112 人

④緊急連絡先のない対象者　　20 人

⑤協力者・緊急連絡先が共にない対象者　　10 人

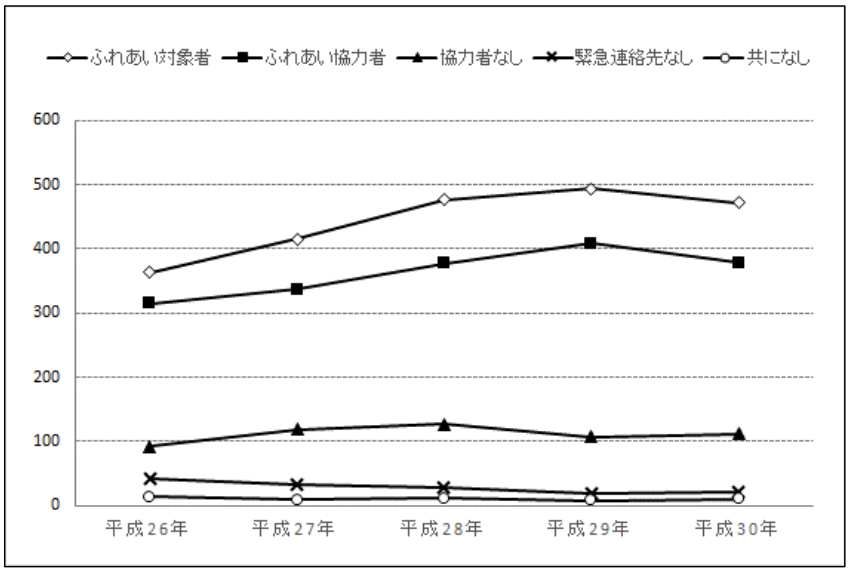
（平成 30 年 4 月 1 日現在）

番号	自治会名	①	②	③	④	⑤	番号	民生委員担当区	①	②	③	④	⑤
1	八幡田	1	0	1	0	0	1	下宗方、八幡田	8	0	8	0	0
2	下宗方	7	0	7	0	0	2						
3	上宗方	91	56	44	9	4	3	日生マンション、上宗方新町	15	12	4	0	0
							4	世利越、上、コーポ阿南					
							5	西、大坪	57	34	31	6	4
							6						
							7	宮田、新宮田、平、東、椚山	1	1	0	0	0
							8						
							9	庄屋鶴、明川原、堀の外、丸岩、北組	18	9	9	3	0
							10						
4	松が丘一丁目	52	47	8	0	0	11	松が丘1丁目6～7番、11～24番	42	39	6	0	0
							12	松が丘1丁目1～5番、8～10番、2丁目1～9番、2丁目17～19番	27	23	5	0	0
5	松が丘二丁目	57	52	7	0	0	13						
							14	松が丘2丁目（10～16番、20～30番）	38	35	4	0	0
6	松が丘三丁目	51	30	12	0	0	15	松が丘3丁目1～13番	19	11	7	0	0
							16	松が丘3丁目14～26番、4丁目1～4番	63	41	6	0	0
7	松が丘四丁目	68	53	9	1	0	17						
							18	松が丘4丁目5～20番	39	33	8	1	0
8	二豊	13	14	4	2	0	19	二豊団地、日生ロイヤル	13	14	4	2	0
9	椿ヶ丘	60	70	7	1	1	20	椿ヶ丘（2、8～12、18～23、26）	28	33	2	1	1
							21	椿ヶ丘（1、3～7、13～17、24、25）	32	38	5	0	0
10	宗方台	72	59	13	7	5	22	宗方台西	32	25	11	4	4
							23	宗方台北	23	18	0	1	0
							24	宗方台東	17	18	2	2	1
11	小野鶴市営住宅	0	0	0	0	0	25	上小野鶴、下小野鶴、市営住宅	0	0	0	0	0
12	下小野鶴	0	0	0	0	0	26						
13	上小野鶴	0	0	0	0	0	27						

宗方地区のふれあい対象者推移

（平成 30 年 4 月 1 日現在）

宗方校区	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
ふれあい対象者	363	415	477	494	472
ふれあい協力者	315	337	377	408	379
協力者なし	92	119	127	107	112
緊急連絡先なし	41	32	29	19	20
共になし	14	9	11	8	10



～ふれあい活動（小地域福祉ネットワーク活動）とは～

「ふれあい協力者」が、日常生活の中で、「ふれあい対象者」への「見守り」や「声かけ」を行い、様々な変化に気づき自治会長・民生委員などにつなげ、地域での見守りあい・話し合い・助け合いの仕組みを構築する活動です。

「ふれあい対象者」：対象者の条件は特にありませんが、支援を要するひとり暮らし高齢者や障がい者、ひとり親世帯等で、本人が活動に同意された方

「ふれあい協力者」：ふれあい対象者に対し、日常的に「見守り」「声かけ」をしていただける近隣住民の方

「緊急連絡先」　：ふれあい対象者の緊急時（事故や急病など）の連絡先で、原則ふれあい対象者の身内の方にお願いしています

(5)高齢者サロンについて

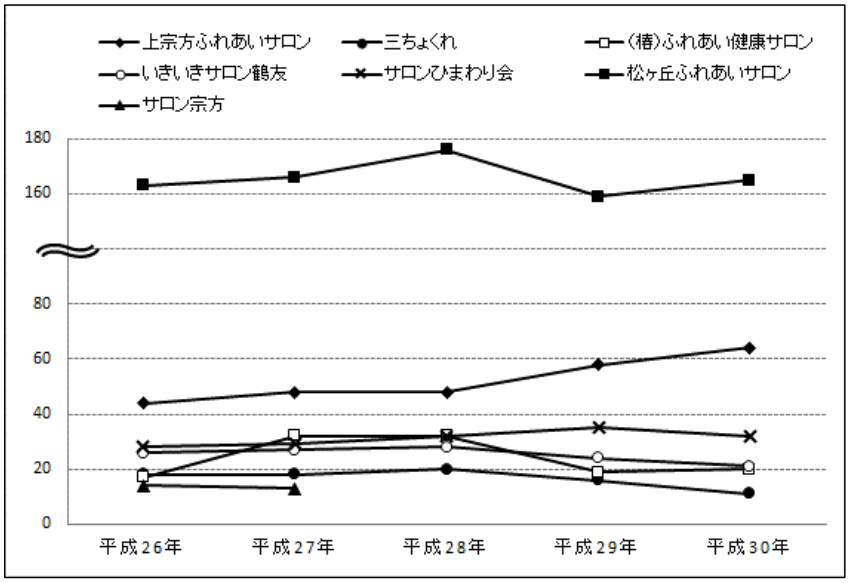
宗方校区内にある高齢者サロンは 6 ヶ所です。

(平成 30 年 1 月末現在)

サロン名	開催場所	年間開催数	参加者数	登録日
上宗方ふれあいサロン	上宗方公民館	23	64	H15.12.1
三ちょくれ	小野鶴教育集会所	31	11	H14.8.6
(椿)ふれあい健康サロン	椿が丘公民館	23	20	H19.6.13
いきいきサロン鶴友	下小野鶴公民館	27	21	H27.3.31
サロンひまわり会	二豊公民館	48	32	H21.3.24
松ヶ丘ふれあいサロン	松が丘公民館	12	165	H22.11.25

宗方校区での高齢者サロン参加者の推移

サロン名	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
上宗方ふれあいサロン	44	48	48	58	64
三ちょくれ	18	18	20	16	11
(椿)ふれあい健康サロン	17	32	32	19	20
いきいきサロン鶴友 (ふれあいサロン萬寿H26)	26	27	28	24	21
サロンひまわり会	28	29	32	35	32
松ヶ丘ふれあいサロン	163	166	176	159	165
サロン宗方	14	13	−	−	−



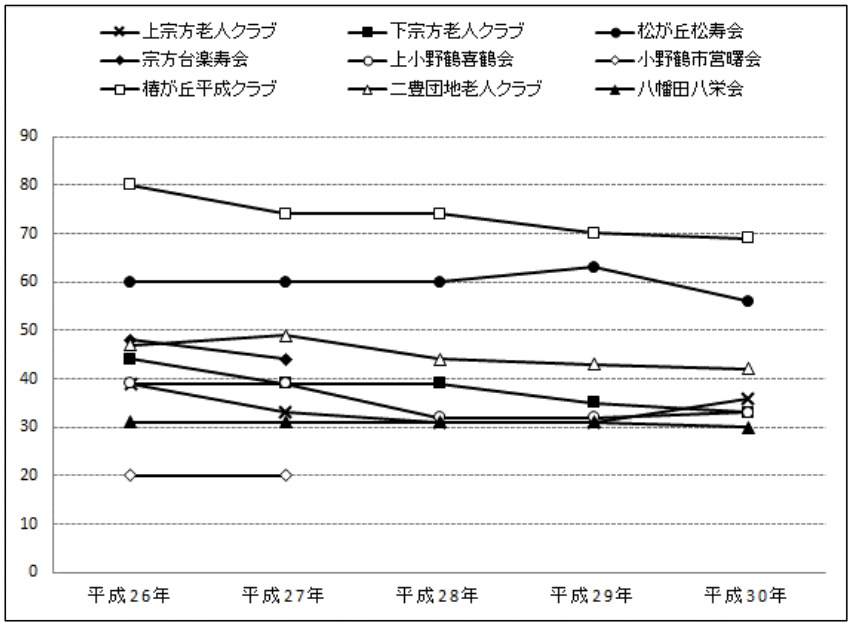
（6）老人会について

宗方校区では、大分市老人クラブ連合会に加入している老人クラブは 9 ヶ所あります。

（平成 30 年度）

老人クラブの参加者推移

	老人クラブ名	自治会	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
1	上宗方老人クラブ	上宗方	39	33	31	31	36
2	下宗方老人クラブ	下宗方	44	39	39	35	33
3	松が丘松寿会	松が丘	60	60	60	63	56
4	宗方台楽寿会	宗方台	48	44	－	－	－
5	上小野鶴喜鶴会	上小野	39	39	32	32	33
6	小野鶴市営曙会	小野鶴市営住宅	20	20	－	－	－
7	椿が丘平成クラブ	椿ヶ丘	80	74	74	70	69
8	二豊団地老人クラブ（ひまわり会H26～28）	二豊	47	49	44	43	42
9	八幡田八栄会	八幡田	31	31	31	31	30



第3章　ふれあい対象者に関する実態調査

本計画を策定するにあたり、宗方校区内のふれあい対象者の生活の実態や地域福祉に関する意識を把握するため、実態調査を実施しました。

実施期間	平成 30 年 7 月中旬～平成 30 年 8 月末
対　象	宗方校区内のふれあい対象者　494 名 （平成 30 年 7 月 1 日現在の対象者数）
回答者数	439 名
回答率	89%
調査協力者	宗方校区民生委員の方々

大分市社会福祉協議会では、みんなが主役のささえあいプラン（大分市地域福祉計画、大分市地域福祉活動計画）に基づいて、地域福祉の推進に取り組んでいますが、その基本目標として、「地域の繋がりをつくる」「地域福祉の担い手をつくる」「課題を深刻化させない」「安心・安全をつくる」をかかげています。

今回の実態調査では、この 4 つの基本目標に沿って、アンケートの設問を設定いたしました。

基本目標ごとの調査結果の概要は次のとおりです。

基本目標1:「地域のつながりをつくる」に関する設問

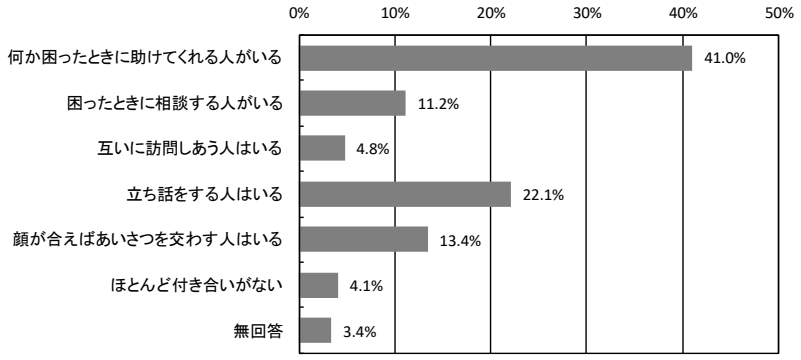
近所づきあいの程度・考え方(問 15・16)

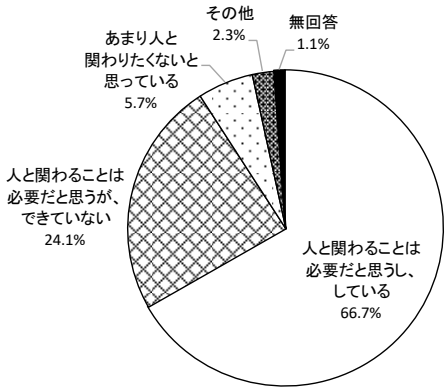
近所づきあいの程度については、「何か困ったときに助けてくれる人がいる」が 41.0%と最も高く、次いで、「立ち話をする人はいる」が 22.1%、「顔が合えばあいさつを交わす人はいる」が 13.4%の順となっている。

なお、「ほとんど付き合いがない」が 4.1%となっている。

近所づきあいについての考え方では、「人と関わることは必要だと思うし、している」が 66.7%で最も高く、次いで「人と関わることは必要だと思うが、できていない」が 24.1%となっている。

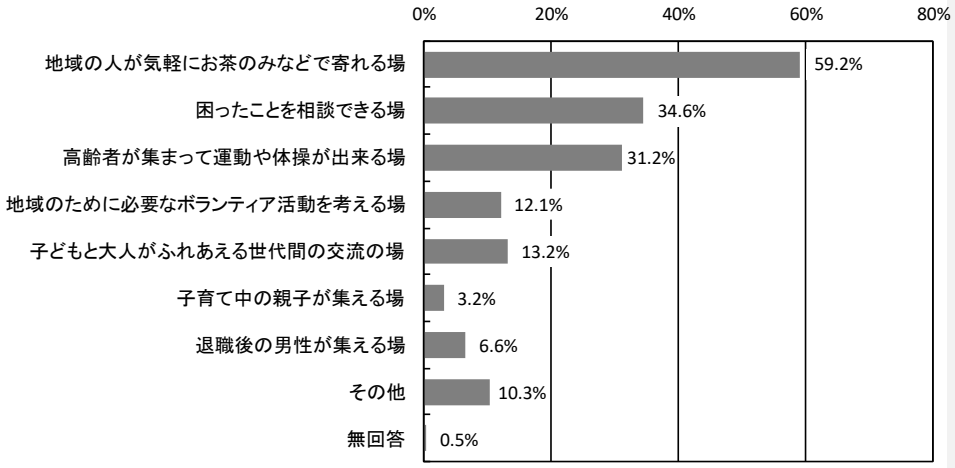
なお、「あまり人と関わりたくないと思っている」は 5.7%となっている。





必要と思われる≪地域住民がつながる場≫（問 17）

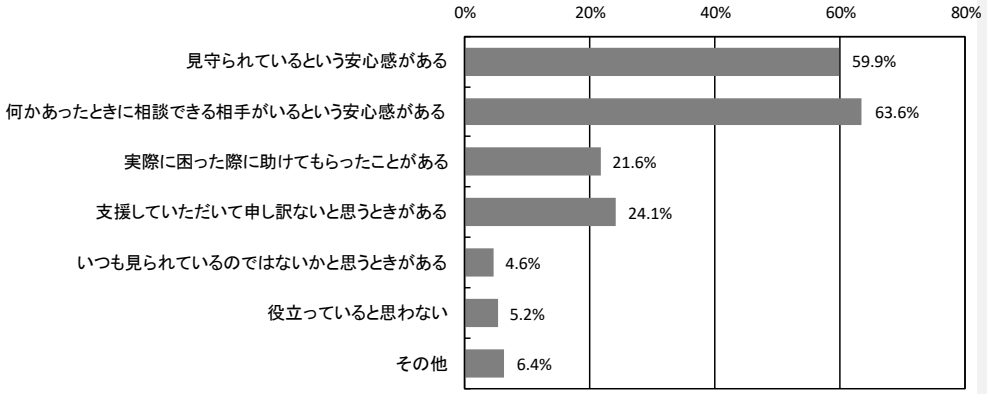
必要と思われる≪地域住民がつながる場≫については、「地域の人が気軽にお茶のみなどで寄れる場」が 59.2%で最も高くなっている。また、「困ったことを相談できる場」が 34.6%、「高齢者が集まって運動や体操が出来る場」が 31.2%、「子どもと大人がふれあえる世代間の交流の場」が 13.2%となっている。



基本目標2:「地域福祉の担い手をつくる」に関する設問

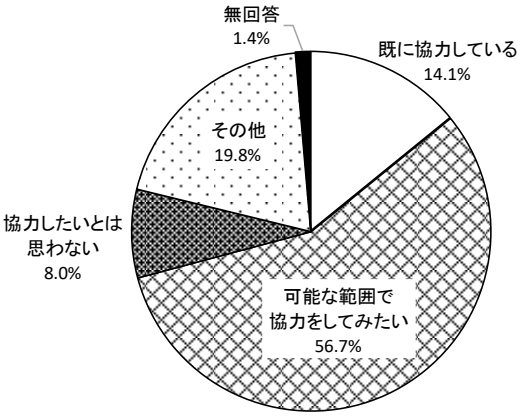
「ふれあい活動」で感じること(問 19)

「ふれあい活動」で感じることについては、「何かあったときに相談できる相手がいるという安心感がある」が 63.6%で最も高く、次いで「見守られているという安心感がある」が 59.9%となっている。



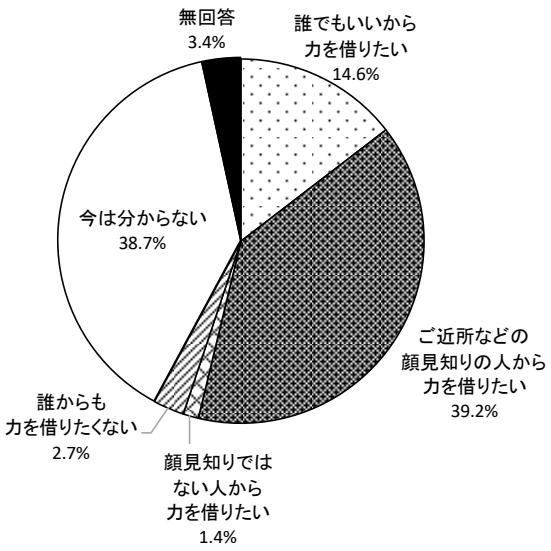
地域の行事や活動に協力してみたいと思うか(問 20)

地域の行事や活動に協力してみたいと思うかについては、「既に協力している」が 14.1%、「可能な範囲で協力をしてみたい」が 56.7%、「協力したいとは思わない」が 8.0%、「その他」が 19.8%となっている。



日常生活のお手伝いに力を借りたいか（問 10）

日常生活のお手伝いに力を借りたいかについては、「誰でもいいから力を借りたい」と答える方よりも、「ご近所などの顔見知りの人から力を借りたい」と答える方の方が多い傾向にある。



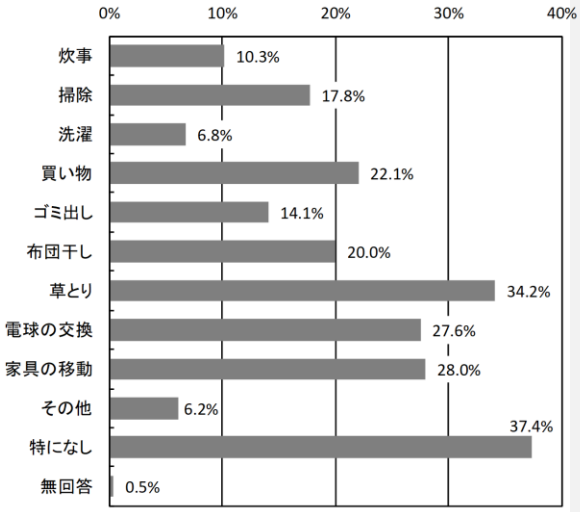
基本目標3:「困りごとを深刻化させない」に関する設問

日常の困りごと(問 7)

日常の困りごとについては、「特になし」が 37.4%で最も高く、次いで「草とり」34.2%、「家具の移動」28.0%、「電球の交換」27.6%となっている。

(N=439)

	回答数	割合
炊事	45	10.3%
掃除	78	17.8%
洗濯	30	6.8%
買い物	97	22.1%
ゴミ出し	62	14.1%
布団干し	88	20.0%
草とり	150	34.2%
電球の交換	121	27.6%
家具の移動	123	28.0%
その他	27	6.2%
特になし	164	37.4%
無回答	2	0.5%

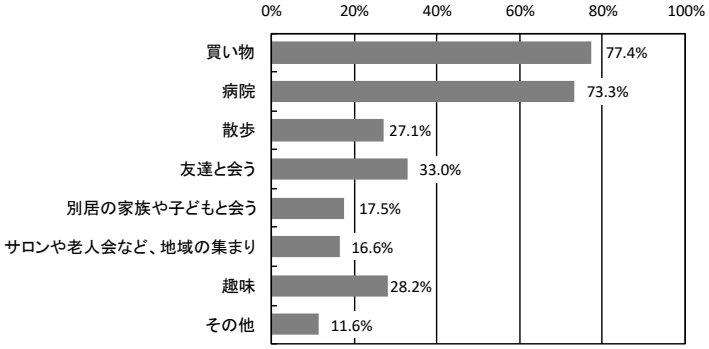


外出の理由(問 11)

外出の理由については、「買い物」が 77.4%となっており最も高く、次いで「病院」73.3%、「友達と会う」33.0%、「趣味」28.2%となっている。

(N=439)

	回答数	割合
買い物	340	77.4%
病院	322	73.3%
散歩	119	27.1%
友達と会う	145	33.0%
別居の家族や子どもと会う	77	17.5%
サロンや老人会など、地域の集まり	73	16.6%
趣味	124	28.2%
その他	51	11.6%



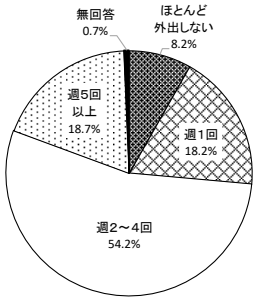
外出の頻度（問 12）

外出の頻度については、「週 2～4 回」が 54.2%と最も高くなっている。次いで「週 5 回以上」が 18.7%と高く、「週 1 回」は 18.2%、「ほとんど外出しない」は 8.2%となっている。

コメントの追加 [u1]: 「無回答」以外の結果を順位の高い順に述べる

（N=439）

	回答数	割合
ほとんど外出しない	36	8.2%
週1回	80	18.2%
週2～4回	238	54.2%
週5回以上	82	18.7%
無回答	3	0.7%



外出を控える理由（問 13）

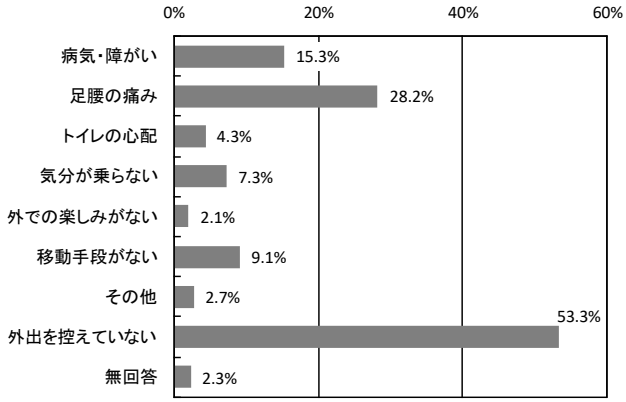
外出を控える理由では、「足腰の痛み」28.2%が高い割合となっている。ついで、「病気・障がい」は 15.3%、「移動手段がない」は 9.1%となっている。

なお、「外出を控えていない」については 53.3%となっている。

コメントの追加 [u2]: 「外出を控えていない」「その他」「無回答」以外で順位の高かったものを順に3つ述べる

（N=439）

	回答数	割合
病気・障がい	67	15.3%
足腰の痛み	124	28.2%
トイレの心配	19	4.3%
気分が乗らない	32	7.3%
外での楽しみがない	9	2.1%
移動手段がない	40	9.1%
その他	12	2.7%
外出を控えていない	234	53.3%
無回答	10	2.3%



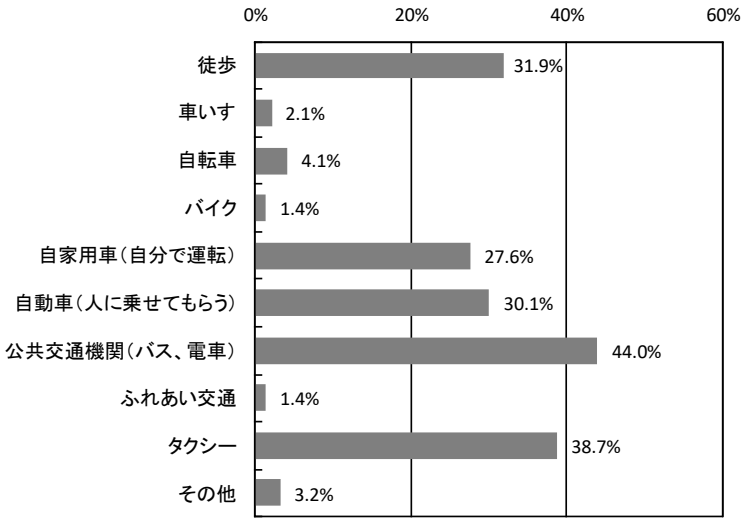
主な外出の手段（問 14）

主な外出の手段については、「公共交通機関（バス、電車）」が 44.0%で最も高く、次いで、「タクシー」38.7%、「徒歩」31.9%、「自家用車（人に乗せてもらう）」30.1%の順となっている。

コメントの追加 [u3]:「無回答」以外で順位の高かったものを順に4つ述べる

（N=439）

	回答数	割合
徒歩	140	31.9%
車いす	9	2.1%
自転車	18	4.1%
バイク	6	1.4%
自家用車（自分で運転）	121	27.6%
自動車（人に乗せてもらう）	132	30.1%
公共交通機関（バス、電車）	193	44.0%
ふれあい交通	6	1.4%
タクシー	170	38.7%
その他	14	3.2%

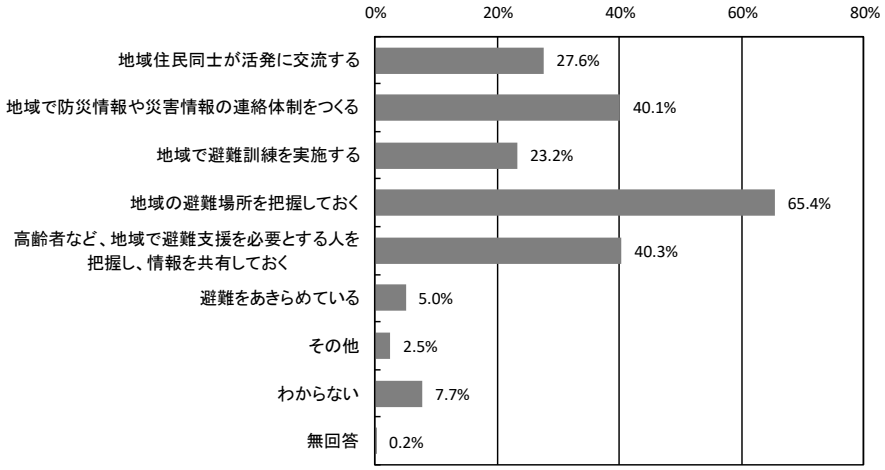


基本目標4:「安心・安全をつくる」に関する設問

災害に備えた地域ぐるみの準備とは(問 18)

災害に備えた地域ぐるみの準備については、「地域の避難場所を把握しておく」が 65.4%で最も高く、次いで「高齢者など、地域で避難支援を必要とする人を把握し、情報を共有しておく」40.3%、「地域で防災情報や災害情報の連絡体制をつくる」40.1%、「地域住民同士が活発に交流する」27.6%の順となっている。

なお、「避難をあきらめている」は 5.0%、「わからない」は 7.7%となっている。



第4章　宗方校区の活動計画と策定までのプロセス

(1)目標と具体的取り組み

実態調査や話し合いから出た意見をふまえ、以下の取り組みを考えました。

宗方校区社協の目標１

ふれあい活動を充実させ、ふれあいの場を拡充していきましょう。

・住民の方の中には、高齢化が進むにつれ地域との交流が次第に希薄になっていくのを心配されており、このような状況を改善するには、地域住民の方々との絆を大切にして　日頃から近所の皆さんとの対話をし、地域や隣近所で助け合えることは大事なことだと考え、そのような地域づくりを推進するため、下記の取り組みを行います。

活動の方向性（具体的取り組み）

●小地域福祉ネットワーク活動の事業周知を行います。
（校区社協だよりなどを通じて）
●小地域福祉ネットワーク会議を小地域（自治会）ごとに開催します。
●ふれあいサロンをすべての自治会設置に向けて取り組みます。
●ふれあい対象者にサロン参加を促します。

策定までのプロセス

≪「話し合い」の場で出た意見≫

～現状・課題～

・災害時要配慮者等、ふれあい対象者を広げることは、民生委員だけでは無理がある（福祉委員などがいれば別ですが）
・空き家等を利用して気軽に集まれる場をつくれないか。
・高齢者だけではなく、こどもから高齢者まで誰も気軽に集まれる場があったら良いと思う。（子ども食堂のようなもの）

～提案・対応策～

・ふれあいの場について、小地域でのネットワークを拡充して宗方校区全体ではなく自治会ごとに状況を把握して、現状を共有することが大事だと思う。
・サロンをすべての自治会で設置するよう　働きかけを行ったらよいのではないか。
・集まれる場があれば、困りごとの話しとかでて、相談もできるだろうし、解決へと繋がるのではと思う。
・ふれあい対象者をサロンとかに参加するよう声かけをしていきたい。

宗方校区社協の目標２

校区ボランティア（担い手）を拡充し、校区の福祉活動を推進しましょう。

校区の福祉活動を推進するには、一部の活動者だけでは困難な状況があり、活動を手助けしてくれる多くの協力者が必要であることから、多くの地域住民の方々に活動参加を促し、福祉協力者を増やして、校区福祉活動の充実を図るため、下記の取り組みを行います。

活動の方向性（具体的取り組み）

●自治会ごとの校区ボランティア組織を拡充するため、宗方校区ボランティア（福祉協力者）として新たに募集し、福祉活動に協力する担い手を増やしていきます。

●校区ボランティアの活動内容を検討し、見守り活動に協力する福祉協力員の配置を検討します。

策定までのプロセス

≪「話し合い」の場で出た意見≫

～現状・課題～

・月１回の見守り、訪問では充実したふれあい活動にはならないのではないか。
多くの協力者が必要では。

・ふれあい対象者も高年齢になり、認知症などによりひとり暮らしが困難な方が増えてきた。
今後、ますますふれあい対象者は増えてくるが、民生委員だけでは無理がある。

・松が丘シルバーボランティアも会員が少なくなってきて、現在、見直しを行い、ボランティア会員を募集しましたが、あまり応募者がなく、会員も高齢化しサービスができない状況である。「松が丘シルバーボランティア現在休止中」このような状況であることから若い会員（担い手）が必要である。

～提案・対応策～

・松が丘団地ではボランティア組織を作ってふれあい対象者に対して支援をしています。（訪問・声かけ・弁当配布・交流会など）

・宗方校区ボランティアを充実していけばよいのでは。

・他の自治会でも、校区ボランティアの組織があり様々な福祉活動をしている。

宗方校区社協の目標３

困りごとに対応する仕組み、体制づくりを進めましょう。

一人暮らし高齢者や高齢者世帯が増えるに連れ、草取りや家具の移動等、高齢者では身体的にできない困りごとが多くなっており、また、買い物、通院、掃除などの手助けが必要な状況がある。このような困りごとに対応するため、住民主体の支援の仕組みづくりが必要なため、下記の取り組みを行います。

活動の方向性（具体的取り組み）

●ふれあい訪問時に困りごとの把握を行う仕組みをつくります。
●サロン活動の中でも困りごとの把握を行う仕組みをつくります。
●現在休止中の、松が丘シルバーボランティアの組織、仕組みを宗方校区社協の取り組みとして検討していきます。

策定までのプロセス

≪「話し合い」の場で出た意見≫

～現状・課題～

・主な外出の手段としてタクシーの利用がきておりますが、外出の目的地までの公共交通機関では時間が合わない、重たいものは持って歩けない等、それなりの理由があり、お金もちではない。
・松が丘では、シルバーボランティアを組織し、困りごとに対応してきたが、現在休止中である。

～提案・対応策～

・ふれあい訪問時に声かけを行い、困りごとを把握したらよいのでは。
・サロンなどみんなが集まるときに、困りごとなど聞いたらよいと思う。
・松が丘団地ではボランティア組織を作ってふれあい対象者に対して支援をしています。（訪問・声かけ・弁当配布・交流会・草取り・家具の移動など）

宗方校区社協の目標４

災害に備えた準備を通じて、支援が必要な方々が安心感を持って暮らせる体制をつくりましょう。

ふれあい対象者の中には、避難所等に歩いて行けるのか等の不安や、支援を要する人の把握や情報の共有、支援の仕組みに不安を抱えている人がいることから、安心感の持てる支援の体制をつくるため、下記の取り組みを行います。

活動の方向性（具体的取り組み）

●ふれあい対象者訪問時に避難場所等の情報を提供していきます。
●サロン参加者等に避難場所等の情報提供をして行きます。
●小地域福祉ネットワーク会議（自治会ごと）において、要支援者の情報の共有を図ります。

策定までのプロセス

≪「話し合い」の場で出た意見≫

～現状・課題～

・自治委員・防災士・民生委員共に綿密な連絡体制を図り、要支援者はもとより、一人暮らし、高齢者夫婦、障がい者等の情報を共有しながら、支援をしていく必要がある。
・災害時の備えや対策と実際の要支援者、高齢者の行動にはズレがあると思う。解決するための具体的な計画を立て直す必要があると思う。
・広い範囲での避難支援はできないと思うので、小地域での協力が必要になると思われる。

～提案・対応策～

・自治会・防災士・民生委員などと話し合いが必要である。（情報共有）
・ふれあい対象者にも、避難場所等訪問時などに伝える。
・近隣同士で情報を共有し、災害発生のときに備える体制づくりをしておく。
・避難行動要支援者にも訪問を実施する。

（2）計画策定メンバー

	団体名・所属	役　職	氏　名
1	宗方校区社会福祉協議会	会長（校区自治委員・自治会連絡協議会長）	安東　幸吉
2	宗方校区社会福祉協議会	副会長（校区民児協会長・地域福祉推進委員）	生野　公明
3	宗方校区社会福祉協議会	副会長（校区青少年健全育成協議会長）	釘宮　　林
4	宗方校区社会福祉協議会	副会長（校区自治委員・自治会連絡協議会副会長）	今城　久光
5	宗方校区社会福祉協議会	事務局長（校区自治委員・自治会連絡協事務局長）	合澤　秀雄
6	宗方校区社会福祉協議会	理事（八幡田、下宗方自治委員・自治会長）	甲斐宗二郎
7	宗方校区社会福祉協議会	理事（椿が丘自治委員・自治会長）	佐藤　明郎
8	宗方校区社会福祉協議会	理事（上小野鶴自治委員・自治会長）	久保　暁生
9	宗方校区社会福祉協議会	理事（椿が丘民生児童委員）	林田　愛子
10	宗方校区社会福祉協議会	監事（宗方台西民生児童委員）	嶋田　和子
11	宗方校区社会福祉協議会	監事（二豊自治委員・自治会長）	後藤　孝文
12	宗方校区自治委員・自治会長連絡協議会	理事（下宗方自治委員・自治会長)）	釘宮　修一
13	宗方校区自治委員・自治会長連絡協議会	理事（松が丘１丁目自治委員・自治会長）	橋本　良一
14	宗方校区自治委員・自治会長連絡協議会	理事（松が丘２丁目自治委員・自治会長）	高橋　俊一
15	宗方校区自治委員・自治会長連絡協議会	理事（松が丘３丁目自治委員・自治会長）	岩波　一彦
16	宗方校区自治委員・自治会長連絡協議会	理事（松が丘４丁目自治委員・松が丘連合自治会長）	谷尾　英熙
17	宗方校区自治委員・自治会長連絡協議会	理事（小野鶴市営自治委員・自治会長）	佐田知賀子
18	宗方校区自治委員・自治会長連絡協議会	理事（下小野鶴自治委員・自治会長）	佐藤　公博
19	宗方校区民生児童委員協議会	民生児童委員（下宗方・八幡田）	釘宮　文重
20	宗方校区民生児童委員協議会	民生児童委員（上宗方）	濱本　辰子
21	宗方校区民生児童委員協議会	民生児童委員（上宗方）	工藤　和代
22	宗方校区民生児童委員協議会	民生児童委員（上宗方）	安東　幸子
23	宗方校区民生児童委員協議会	民生児童委員（上宗方）	下岡　文代
24	宗方校区民生児童委員協議会	民生児童委員（松が丘１丁目・２丁目）	土谷つるみ
25	宗方校区民生児童委員協議会	民生児童委員（松が丘２丁目）	植木　蓮子
26	宗方校区民生児童委員協議会	民生児童委員（松が丘３丁目）	秋吉　恵子
27	宗方校区民生児童委員協議会	民生児童委員（松が丘３丁目・４丁目）	高橋　洋子
28	宗方校区民生児童委員協議会	民生児童委員（松が丘４丁目）	原　　弘子
29	宗方校区民生児童委員協議会	民生児童委員（二豊）	井瀬　節子
30	宗方校区民生児童委員協議会	民生児童委員（椿が丘）	中本　和江
31	宗方校区民生児童委員協議会	民生児童委員（宗方台北）	佐藤トモコ
32	宗方校区民生児童委員協議会	民生児童委員（宗方台東）	釘宮　和枝
33	宗方校区民生児童委員協議会	民生児童委員（上小野鶴.下小野鶴.市営住宅）	曽我　宗憲
34	宗方校区民生児童委員協議会	民生児童委員（主任児童委員）	後藤　清子
35	宗方校区民生児童委員協議会	民生児童委員（主任児童委員）	矢野　節子

（3）実施経過

開催日	内容
４月１２日（木）　１０：００～	ふれあい活動を通じた地域福祉推進事業実施説明
４月１６日（月）　１０：００～	総会にて校区地域福祉活動計画策定の承認
６月　１日（金）～ ６月３０日（土）	調査対象者整備活動 （ふれあい台帳対象者等整備）
７月１９日（木）　１３：３０～	調査員説明会
７月１９日（木）～ ９月１５日（土）	調査期間及び回収
９月２０日（木）　１３：３０～	宗方校区社協事務局協議 （回収状況及び内容確認等）
１０月１８日（木）　１５：３０～	宗方校区社協事務局協議 （説明会に向けての内容確認等）
１２月２０日（木）　１３：３０～	実態調査説明会（宗方校区民児協定例会）
１月１９日（土）　９：００～	第１回話し合い（実態調査報告等）
２月　８日（金）　９：３０～	宗方校区社協事務局協議（２回目の話し合いに向けて、内容等検討）
２月２１日（木）１３：３０～	第２回話し合いに向けた事前協議（会長・事務局長・地域福祉推進委員・民生児童委員）
２月２６日（火）　９：３０～	第２回話し合い（地域課題の把握、課題出し等）
令和元年　９月２８日（土）１３：００～	活動計画（案）について役員検討会
令和元年１１月　１日（金）１１：００～	第３回話し合い（活動目標案、計画策定）
令和元年１１月１１日（月）１０：３０～	第４回話し合い（活動計画まとめ）

お忙しい中、ご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。
今後とも、宗方校区の地域福祉の発展のために、ご協力いただきますよう
お願い致します。

第5章　資料編

(1)他の活動紹介

地域の活性化を応援する大分市の補助事業

高齢者ファミリーサポートセンター事業	
実施主体	大分市（長寿福祉課　権利擁護担当班）
活動内容	高齢者の在宅支援を提供する20歳以上の市民(援助会員)と、在宅支援を依頼する65歳以上の高齢者(依頼会員)からなる会員同士により、食事の準備や部屋の掃除、ごみの搬出等による有償ボランティアを行います。
対象地域	市内全域
対象者	65歳以上の高齢者
利用方法	ファミリーサポートセンターへ事前連絡
利用料	①平日（9：00～17：00）　1時間600円 ②休日及び上記時間帯以外の平日　1時間700円
利用実績	2,792件（平成28年度）

地域ふれあいサロン事業	
実施主体	大分市（運営主体：大分市社会福祉協議会）
活動内容	レクリエーション、体操、茶話会、季節の行事など
対象地域	市内全域
対象者	原則、該当の自治会にお住まいの概ね60歳以上の方。 ボランティアとして活動に協力する方については年齢を問わない。
利用方法	各サロンへ直接申し込み
利用料	実費のみ（各サロンによる）
利用実績	28年度　12,802人（登録者数）

市民健康づくり運動教室	
実施主体	大分市（運営主体：大分市民健康づくり運動指導者協議会）
活動内容	健康づくり運動指導者協議会において養成された指導者が、健康づくりのための運動教室を各地区の公民館等で行う。
対象地域	市内全域
対象者	誰でも良い（年齢制限なし）
利用方法	各教室へ直接申し込み
利用料	実費のみ（各教室による）
利用実績	28年度　171カ所（開催ヵ所数）

認知症カフェ運営事業	
実施主体	大分市（長寿福祉課　権利擁護担当班）
活動内容	認知症の方とその家族、地域住民や専門職など誰もが集い、おしゃべりや情報交換等ができる交流の場
対象地域	市内全域
対象者	限定なし
利用方法	各カフェに直接申し込み
利用料	実費（カフェによる）
利用実績	28年度　11カ所（利用者数）

あなたが支える市民活動応援事業	
実施主体	大分市（市民協働推進課）
活動内容	ボランティア団体やNPO法人などの市民活動団体が、自主的に行う公益性の高い事業に対して、市民の届出（応援したい団体）に応じた補助金を交付する。
対象地域	市内全域
対象者	ボランティアグループ、NPO法人、生涯学習指導者団体、地区校区のまちづくりグループなど
利用方法	大分市人材バンクに登録した上で、応援を受けたい事業を市へ届出
利用料	
利用実績	102団体（利用団体数）

他の地域で行われている先進的な取り組み

地域通貨（ご加勢くん）を活用した軽度生活支援事業 【分類：日常的な家事・非日常的な支援】	
実施主体	こうざき校区社会福祉協議会
活動内容	草取り・買い物・ごみ出し・掃除・重い者の運搬など
対象地域	こうざき校区
対象者	こうざき校区の住民
利用方法	サポートセンターに申し込み
利用料	10分間100円　※地域通貨を活用
財源	平成27年実績 ・校（地）区社協事業費　19,800円 ・利用料収入　16,200円
利用実績	平成28年度実績 ・利用者数9名（のべ利用者数64名） ・サービス利用時間　108時間40分

誰でも参加できる居場所「あらたにカフェ」 【分類：外出・交流】	
実施主体	上国東地区社会福祉協議会　あらたに会（大分県国東市）
活動内容	「あらたにカフェ」の開催（火・水・木・金） ・コーヒー１杯100円、その他メニュー有 ・健康体操やレクリエーション　など ・送迎つきの食事会（参加費400円）、買い物ツアーを月2回（第1、3木曜日実施）
対象地域	特に要件なし。　※食事会への送迎は上国東地区の方のみ
対象者	特に要件なし。　※食事会への送迎は上国東地区の方のみ
利用方法	送迎つきの食事会、買い物ツアーには事前申込が必要
利用料	無料
財源	〈初動設備〉 ・大分県里のくらし支援事業 ・大分県サロン活動等交流の場の立ち上げ支援事業（カフェ） ・大分県老人クラブ連合会　元気高齢者地域活動応援事業（食事会等） 〈活動費用〉 ⇒平成29年度は介護保険制度一般介護予防事業の予算の一部を活用
利用実績	平成28年12月～平成29年3月末の実績 カフェ　　53回開催　利用者数796名 食事会　　6回開催　利用者数126名 （参考）地域の人口491名（H28.4.1現在）

施設の地域交流スペースを活用した買い物支援事業 （地域貢献事業の一環） 【分類：外出】	
実施主体	社会福祉法人　龍和会　特別養護老人ホーム　寿志の里
活動内容	・8つの販売業者との協力による買い物の場の提供 ・自ら来られない方への支援（無料送迎）
対象地域	高江、住床、米良　※上記3地区以外から2名が利用
対象者	限定なし
利用方法	送迎のみ申し込みが必要
利用料	無料　※買い物は有料
財源	法人の施設、公用車、職員を活用した取り組みのため、ガソリン代程度の経費のみかかっている。
利用実績	平成28年度実績 ・利用者数 981名（うち送迎利用者数 260人） ・年間約160,000円の売り上げ

富士見が丘お出かけ交通 【分類：外出】	
実施主体	富士見が丘連合自治会
活動内容	外出支援・買い物支援 ・外出支援についてはタクシー会社委託。買い物支援はボランティアが行う。
対象地域	富士見が丘団地内
対象者	虚弱高齢者、外出困難者
利用方法	タクシー会社に予約
利用料	1回 400円
財　　源	市・自治会補助金（廃品回収の収益金） 年間 約200,000円 ・タクシー会社への事務手数料118,800円（9,900×12月） ・利用１回あたりのタクシー会社への負担金640円 （個人負担400円、自治会補助240円）
利用実績	年間 約180回

暮らしのサポートセンター　久住「りんどう」の取り組み 【分類：日常的な家事・外出・交流・非日常的な支援】	
実施主体	・暮らしのサポートセンター　久住「りんどう」 ・竹田市地域包括支援センター
活動内容	・誰でもでも参加できる「寄り合いの場」 ・調理・清掃・ごみ出し・買物支援・外出支援・など
対象地域	久住町及びその近隣地域
対象者	・寄り合いの場は、特に限定なし。 ・生活支援サービスは会員加入者（年会費1,000円）
利用方法	電話で申し込み
利用料	1時間800円（30分400円）
財　　源	平成27年度 ・収入4,703,166円（市補助金、年会費、利用料等） ・支出2,847,530円
利用実績	平成28年度実績 ・会員数116名　支援回数197回

地域社会で支える外出支援活動 【分類：外出】	
実施主体	NPO法人　中原たすけあい（佐賀県）
活動内容	福祉有償運送と無償運送（もやい号）による外出支援
対象地域	①福祉有償運送（365日運行） 起点・終点が鳥栖市・みやき町であれば制限無し ②無償運送「もやい号」（毎週火・木・土AM9時～PM4時） 中原校区内
対象者	①福祉有償運送：鳥栖市、みやき町、上峰町の外出困難な会員 ②無償運送（もやい号）：中原校区内で外出に困っている会員
利用方法	申し込み
利用料	①福祉有償運送：1時間700円、1km50円 ※タクシーの約2分の1の金額 ②無償運送（もやい号）：ガソリン代実費（1回100円）
財　　源	（平成27年度） 福祉有償運送 / 無償運送(もやい号) / 合計 収入：2,002千円 / 278千円 / 2,280千円 支出：3,600千円 / 799千円 / 4,399千円 差引：−1,598千円 / −521千円 / −4,399千円 ※収支不足額は寄付金、他事業収益で補てん
利用実績	平成27年度実績 ①福祉有償運送：利用者数55人（延べ利用者数2,177人） ②無償運送（もやい号）：利用者数41人 （延べ利用者数2,788人）

（2）実態調査票

あなたご自身についておうかがいします。

【問１】あなたの性別を教えてください。
１）男性　　２）女性

【問２】あなたの年齢を教えてください。
１）50 歳未満　　２）50～59 歳　　３）60～64 歳　　４）65～69 歳
５）70～74 歳　　６）75～79 歳　　７）80～84 歳　　８）85 歳以上

【問３】居住形態を教えてください。
１）一軒家（一戸建て）・持ち家　　２）一軒家（一戸建て）・借家
３）集合住宅・持ち家　　４）集合住宅・借家　　５）公営住宅
６）その他（　　）

【問４】家族構成を教えてください。
１）ひとり暮らし　　２）夫婦のみ　　３）子どもと同居　　４）兄弟・親族と同居
５）その他（　　）

【問５】今のお住まいに住んでからの居住年数を教えてください。
１）１年未満　　２）１年以上～３年未満　　３）３年以上～５年未満
４）５年以上～10 年未満　　５）１０年以上～20 年未満　　６）２０年以上

【問６】あなたの健康状態はどうですか。（○はいくつでも）
１）健康である　　２）通院している　　３）通院していないが、体調がすぐれない
４）歩くのが不自由　　５）寝たきり状態
６）その他（　　）

日常の生活についてお尋ねします。

【問７】日常生活のなかで、困ったことがあれば教えてください。（○はいくつでも）
１）炊事　　２）掃除　　３）洗濯　　４）買い物　　５）ゴミ出し
６）布団干し　　７）草とり　　８）電球の交換　　９）家具の移動
10）その他（　　）
11）特になし

コメントの追加 [u4]:【意見】
“草刈り”より“草とり”に苦労している人が多い

【問８】その他に、困ったことがあれば教えてください。（○はいくつでも）
１）医療や介護のこと　　２）経済的なこと　　３）地域の人とのつきあい
４）その他（　　）　　５）困っていることはない

【問９】困った時に相談する相手はいますか。（○はいくつでも）
１）家族・親族　　２）友人・知人　　３）自治会長　　４）民生委員
５）ふれあい協力者　　６）専門家（医師、地域包括支援センターなど）
７）その他（　　）　　８）相談できる人はいない

【問１０】困りごとについて、自分で出来なくなったときに、ご近所の人などからお手伝いに力を借りたいと思いますか。
１）誰でもいいから力を借りたい
２）ご近所などの顔見知りの人から力を借りたい
３）顔見知りではない人から力を借りたい
４）誰からも力を借りたくない
５）今は分からない

コメントの追加 [u5]: ・“ご近所などの”を文言として消して、縮めてはどうか
・①借りたい②借りたくない③今はわからないの3つでどうか

日常的な外出についてお尋ねします

【問１１】どのような理由で外にお出かけになることが多いですか。（○はいくつでも）

１）買い物　２）病院　３）散歩　４）友達と会う　５）別居の家族や子どもと会う
６）サロンや老人会など、地域の集まり　７）趣味　８）その他（　　）

【問１２】お出かけの頻度はどの位ですか。

１）ほとんど外出しない　２）週１回　３）週２～４回　４）週５回以上

【問１３】以下の理由のため、外出を控えることがあれば教えてください。（○はいくつでも）

１）病気、障がい　２）足腰の痛み　３）トイレの心配　４）気分が乗らない
５）外での楽しみがない　６）移動手段がない　７）その他（　　）
８）外出を控えていない

【問１４】外出する際の主な移動手段は何ですか。（○はいくつでも）

１）徒歩　２）車いす　３）自転車　４）バイク
５）自家用車（自分で運転）　６）自動車（人に乗せてもらう）
７）公共交通機関（バス、電車）　８）ふれあい交通　９）タクシー
10）その他（　　）

ご近所付き合いについてお尋ねします。

【問１５】あなたは、日頃、一番親しいご近所の人とどの程度の付き合いをしていますか。

１）何か困ったときに助けてくれる人がいる　２）困ったときに相談する人がいる
３）互いに訪問しあう人はいる　４）立ち話をする人はいる
５）顔が合えばあいさつを交わす人はいる　６）ほとんど付き合いがない

【問１６】日常でのご近所付き合いについて、どのようにお考えですか。

１）人と関わることは必要だと思うし、している
２）人と関わることは必要だと思うが、できていない
３）あまり人と関わりたくないと思っている
４）その他（　　）

【問１７】あなたの住んでいる地域にこれから必要だと思われる「住民同士がつながる場」とはどんな場だと思いますか。（○はいくつでも）

１）地域の人が気軽にお茶のみなどで寄れる場　２）困ったことを相談できる場
３）高齢者が集まって運動や体操が出来る場
４）地域のために必要なボランティア活動を考える場
５）子どもと大人がふれあえる世代間の交流の場
６）子育て中の親子が集える場　７）退職後の男性が集える場
８）その他（　　）

コメントの追加 [u6]:【意見】
・問 13 と問 14 をまとめることはできないか
⇒“実態”と“意識”を分けて聞きたい
・単回答だったが、複数選択している人が多かったため、無回答扱いになった人が多かった。
⇒聞き方を見直し。（“一番親しい”を追加）

コメントの追加 [u7]: 実態調査の対象者がほぼ高齢者なので、結果的にも高齢者関係の選択率が高くなった。
選択肢の見直しをしてもいいかも。

コメントの追加 [u8]:【意見】
・女性のことは聞かないのか
⇒男性のほうが人と関わらない･･･という視点の選択肢も必要では

【問１８】災害時に地域住民が助け合って避難するためには、日頃から地域ぐるみでどのような準備をすればよいと思いますか。（○はいくつでも）

１）地域住民同士が活発に交流する
２）地域で防災情報や災害情報の連絡体制をつくる
３）地域で避難訓練を実施する
４）地域の避難場所を把握しておく
５）高齢者など、地域で避難支援を必要とする人を把握し、情報を共有しておく
６）避難をあきらめている
７）その他（　　）
８）わからない

住民同士の「ふれあい活動（見守り、声かけ活動）」についてお尋ねします。

【問１９】「ふれあい活動（見守り、声かけ活動）」で、感じることを教えてください。（○はいくつでも）

１）見守られているという安心感がある
２）何かあったときに相談できる相手がいるという安心感がある
３）実際に困った際に助けてもらったことがある
４）支援していただいて申し訳ないと思うときがある
５）いつも見られているのではないかと思うときがある
６）役立っていると思わない
７）その他（　　）

【問２０】あなたは地域の行事や活動に協力してみたいと思いますか。

１）既に協力している
２）可能な範囲で協力をしてみたい
３）協力したいとは思わない
４）その他（　　）

【問２１】最後に、感想や意見があればご自由にお書きください。

調査へご協力いただき、ありがとうございました。

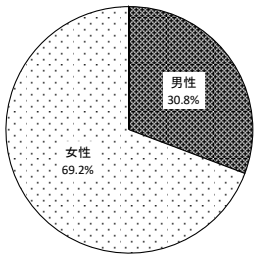
コメントの追加 [u9]:【意見】
・ふれあい対象者（気になる人）が、いろんな行事に来ないのが気になる･･･。いつも外に出ない人が、どのように考えているのかが知りたい。
・狭義で“ふれあい活動”ではなく、地域の活動（校区社協の取り組み、サロン等･･･“参加すること”）についてどのように考えているのかを聞きたい。
⇒地域の活動に協力してみたいと思いますか？みたいな聞き方に変えてもいいかも

（3）実態調査集計結果

問 1	あなたの性別を教えてください。

（N=439）

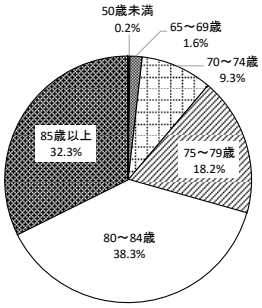
	回答数	割合
男性	135	30.8%
女性	304	69.2%



問 2	あなたの年齢を教えてください。

（N=439）

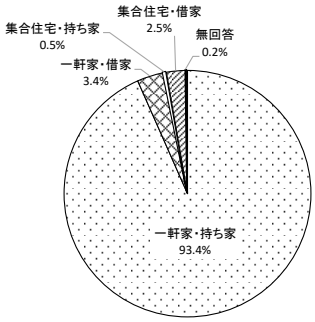
	回答数	割合
50歳未満	1	0.2%
50～59歳	0	0.0%
60～64歳	0	0.0%
65～69歳	7	1.6%
70～74歳	41	9.3%
75～79歳	80	18.2%
80～84歳	168	38.3%
85歳以上	142	32.3%



問 3	居住形態を教えてください。

（N=439）

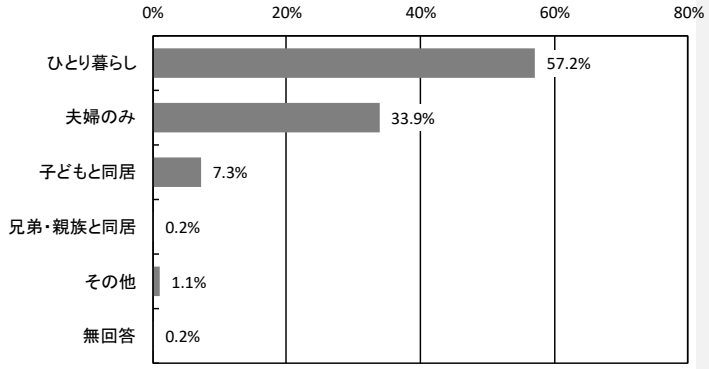
	回答数	割合
一軒家・持ち家	410	93.4%
一軒家・借家	15	3.4%
集合住宅・持ち家	2	0.5%
集合住宅・借家	11	2.5%
公営住宅	0	0.0%
その他	0	0.0%
無回答	1	0.2%



問 4	家族構成を教えてください。

（N=439）

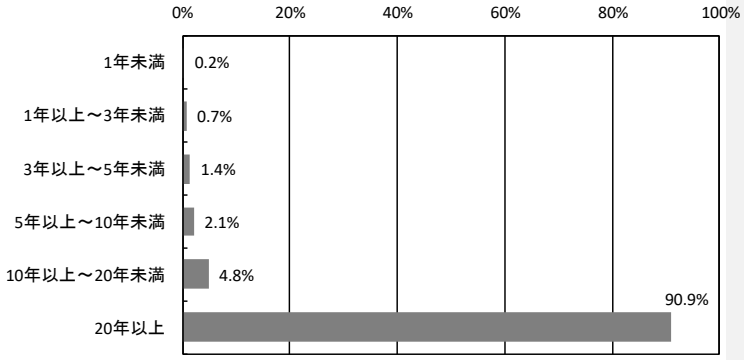
	回答数	割合
ひとり暮らし	251	57.2%
夫婦のみ	149	33.9%
子どもと同居	32	7.3%
兄弟・親族と同居	1	0.2%
その他	5	1.1%
無回答	1	0.2%



問 5	今のお住まいに住んでからの居住年数を教えてください。

（N=439）

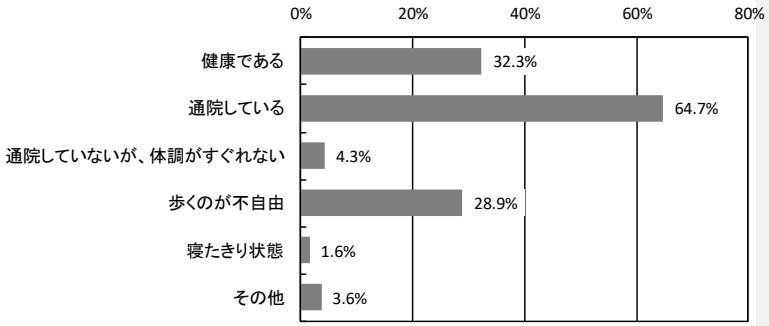
	回答数	割合
1年未満	1	0.2%
1年以上～3年未満	3	0.7%
3年以上～5年未満	6	1.4%
5年以上～10年未満	9	2.1%
10年以上～20年未満	21	4.8%
20年以上	399	90.9%



問 6	あなたの健康状態はどうですか。（〇はいくつでも）

（N=439）

	回答数	割合
健康である	142	32.3%
通院している	284	64.7%
通院していないが、体調がすぐれない	19	4.3%
歩くのが不自由	127	28.9%
寝たきり状態	7	1.6%
その他	16	3.6%



※複数回答

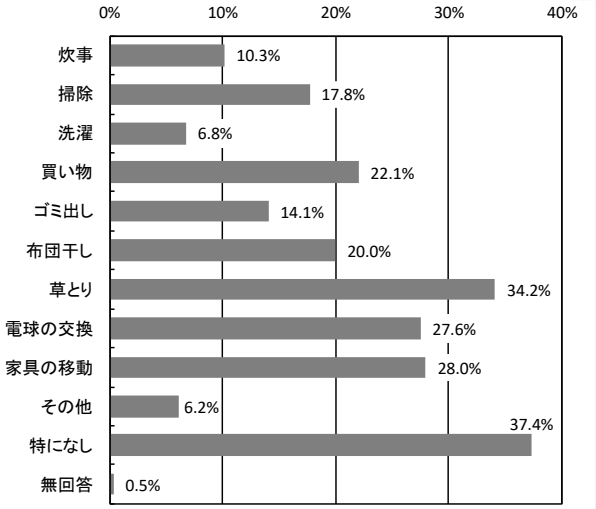
（%）

		サンプル数	健康である	通院している	通院していないが、体調がすぐれない	歩くのが不自由	寝たきり状態	その他
全　体		439	32.3	64.7	4.3	28.9	1.6	3.6
年齢別	50歳未満	1	—	100.0	—	100.0	—	—
	50～59歳	0	—	—	—	—	—	—
	60～64歳	0	—	—	—	—	—	—
	65～69歳	7	14.3	57.1	—	—	28.6	—
	70～74歳	41	36.6	65.9	—	14.6	2.4	4.9
	75～79歳	80	46.3	52.5	3.8	17.5	1.3	—
	80～84歳	168	31.0	67.3	3.6	28.6	0.6	5.4
	85歳以上	142	26.1	68.3	7.0	40.8	1.4	3.5

問 7	日常生活のなかで、困ったことがあれば教えてください。（〇はいくつでも）

（N=439）

	回答数	割合
炊事	45	10.3%
掃除	78	17.8%
洗濯	30	6.8%
買い物	97	22.1%
ゴミ出し	62	14.1%
布団干し	88	20.0%
草とり	150	34.2%
電球の交換	121	27.6%
家具の移動	123	28.0%
その他	27	6.2%
特になし	164	37.4%
無回答	2	0.5%



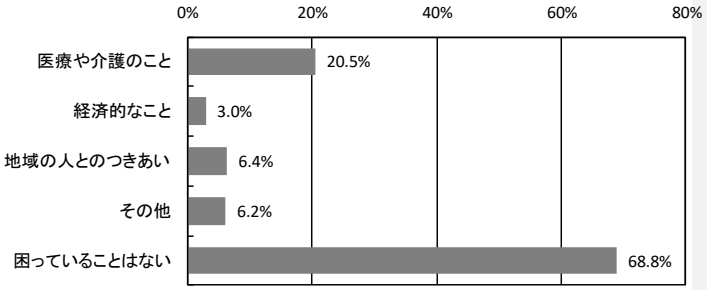
※複数回答
（%）

		サンプル数	炊事	掃除	洗濯	買い物	ゴミ出し	布団干し	草とり	電球の交換	家具の移動	その他	特になし	無回答
全　体		439	10.3	17.8	6.8	22.1	14.1	20.0	34.2	27.6	28.0	6.2	37.4	0.5
年齢別	50歳未満	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—
	50～59歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	60～64歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	65～69歳	7	28.6	—	—	42.9	14.3	—	—	—	14.3	—	57.1	—
	70～74歳	41	4.9	9.8	2.4	12.2	2.4	9.8	19.5	19.5	14.6	7.3	58.5	—
	75～79歳	80	3.8	8.8	2.5	13.8	6.3	12.5	27.5	21.3	22.5	6.3	38.8	—
	80～84歳	168	11.9	19.6	6.0	19.0	14.3	19.6	36.9	27.4	30.4	5.4	36.3	—
	85歳以上	142	12.7	23.9	12.0	32.4	21.8	28.9	40.8	35.2	33.1	7.0	30.3	1.4

問 8	その他に、困ったことがあれば教えてください。（〇はいくつでも）

（N=439）

	回答数	割合
医療や介護のこと	90	20.5%
経済的なこと	13	3.0%
地域の人とのつきあい	28	6.4%
その他	27	6.2%
困っていることはない	302	68.8%



※複数回答

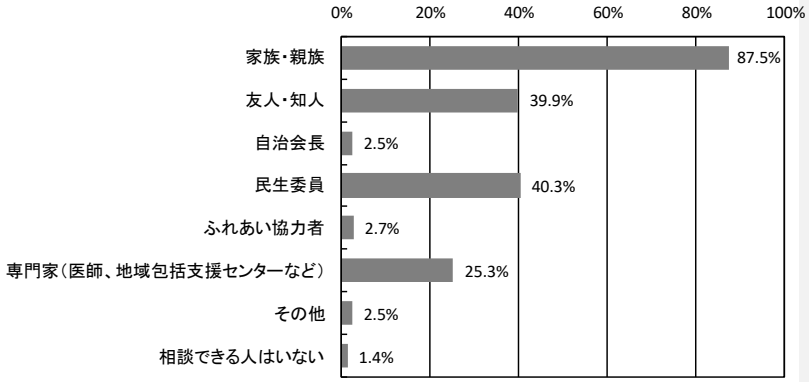
（%）

		サンプル数	医療や介護のこと	経済的なこと	地域の人とのつきあい	その他	困っていることはない
全　体		439	20.5	3.0	6.4	6.2	68.8
年齢別	50歳未満	1	100.0	—	—	—	—
	50～59歳	0	—	—	—	—	—
	60～64歳	0	—	—	—	—	—
	65～69歳	7	42.9	28.6	28.6	14.3	14.3
	70～74歳	41	7.3	—	4.9	4.9	82.9
	75～79歳	80	11.3	3.8	3.8	7.5	78.8
	80～84歳	168	20.8	2.4	4.8	6.0	70.2
	85歳以上	142	27.5	2.8	9.2	5.6	60.6

問 9	困った時に相談する相手はいますか。（〇はいくつでも）

（N=439）

	回答数	割合
家族・親族	384	87.5%
友人・知人	175	39.9%
自治会長	11	2.5%
民生委員	177	40.3%
ふれあい協力者	12	2.7%
専門家（医師、地域包括支援センターなど）	111	25.3%
その他	11	2.5%
相談できる人はいない	6	1.4%



※複数回答

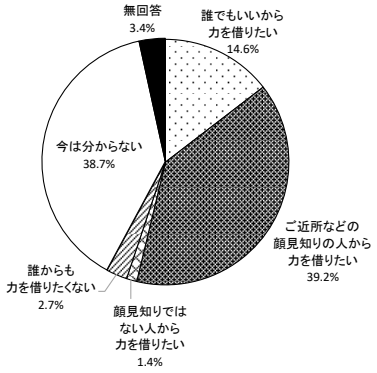
（%）

		サンプル数	家族・親族	友人・知人	自治会長	民生委員	ふれあい協力者	専門家（医師、地域包括支援センターなど）	その他	相談できる人はいない
全体		439	87.5	39.9	2.5	40.3	2.7	25.3	2.5	1.4
性別	男性	135	81.5	29.6	3.7	37.0	1.5	31.9	2.2	3.7
	女性	304	90.1	44.4	2.0	41.8	3.3	22.4	2.6	0.3
年齢別	50歳未満	1	100.0	—	—	—	—	100.0	—	—
	50～59歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—
	60～64歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—
	65～69歳	7	71.4	28.6	—	42.9	—	28.6	14.3	—
	70～74歳	41	78.0	53.7	2.4	24.4	—	9.8	2.4	—
	75～79歳	80	85.0	51.3	1.3	31.3	3.8	16.3	3.8	2.5
	80～84歳	168	89.9	39.3	3.6	41.7	3.0	25.6	1.8	2.4
	85歳以上	142	89.4	31.0	2.1	48.6	2.8	33.8	2.1	—

問 10	困りごとについて、自分で出来なくなったときに、ご近所の人などからお手伝いに力を借りたいと思いますか。

（N=439）

	回答数	割合
誰でもいいから力を借りたい	64	14.6%
ご近所などの顔見知りの人から力を借りたい	172	39.2%
顔見知りではない人から力を借りたい	6	1.4%
誰からも力を借りたくない	12	2.7%
今は分からない	170	38.7%
無回答	15	3.4%



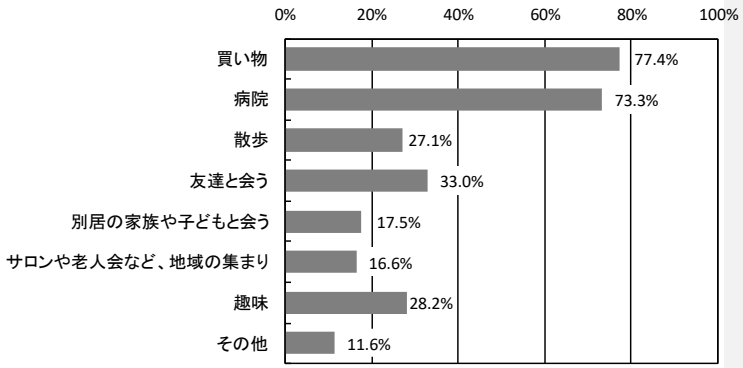
（%）

		サンプル数	誰でもいいから力を借りたい	ご近所などの顔見知りの人から力を借りたい	顔見知りではない人から力を借りたい	誰からも力を借りたくない	今は分からない	無回答
全　体		439	14.6	39.2	1.4	2.7	38.7	3.4
性別	男性	135	13.3	37.0	1.5	3.0	42.2	3.0
	女性	304	15.1	40.1	1.3	2.6	37.2	3.6
年齢別	50歳未満	1	－	－	－	－	－	100.0
	50～59歳	0	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	0	－	－	－	－	－	－
	65～69歳	7	－	42.9	－	－	57.1	－
	70～74歳	41	17.1	19.5	4.9	2.4	51.2	4.9
	75～79歳	80	10.0	37.5	2.5	1.3	46.3	2.5
	80～84歳	168	16.7	38.7	1.2	2.4	38.7	2.4
	85歳以上	142	14.8	46.5	－	4.2	30.3	4.2

問 11	どのような理由で外にお出かけになることが多いですか。（〇はいくつでも）

（N=439）

	回答数	割合
買い物	340	77.4%
病院	322	73.3%
散歩	119	27.1%
友達と会う	145	33.0%
別居の家族や子どもと会う	77	17.5%
サロンや老人会など、地域の集まり	73	16.6%
趣味	124	28.2%
その他	51	11.6%



※複数回答

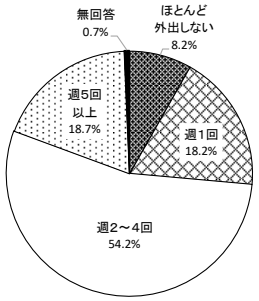
（%）

		サンプル数	買い物	病院	散歩	友達と会う	別居の家族や子どもと会う	サロンや老人会など、地域の集まり	趣味	その他
全体		439	77.4	73.3	27.1	33.0	17.5	16.6	28.2	11.6
性別	男性	135	68.9	74.8	31.1	14.1	14.8	7.4	19.3	17.0
	女性	304	81.3	72.7	25.3	41.4	18.8	20.7	32.2	9.2
年齢別	50歳未満	1	—	100.0	—	—	—	—	—	100.0
	50～59歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—
	60～64歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—
	65～69歳	7	71.4	85.7	14.3	42.9	14.3	—	14.3	14.3
	70～74歳	41	85.4	56.1	46.3	48.8	29.3	12.2	34.1	17.1
	75～79歳	80	90.0	62.5	22.5	38.8	13.8	18.8	45.0	7.5
	80～84歳	168	81.0	73.8	31.5	38.7	19.6	16.1	27.4	10.7
	85歳以上	142	64.8	83.1	19.7	18.3	14.1	18.3	19.0	12.7

問 12	お出かけの頻度はどの位ですか。

（N=439）

	回答数	割合
ほとんど外出しない	36	8.2%
週1回	80	18.2%
週2～4回	238	54.2%
週5回以上	82	18.7%
無回答	3	0.7%



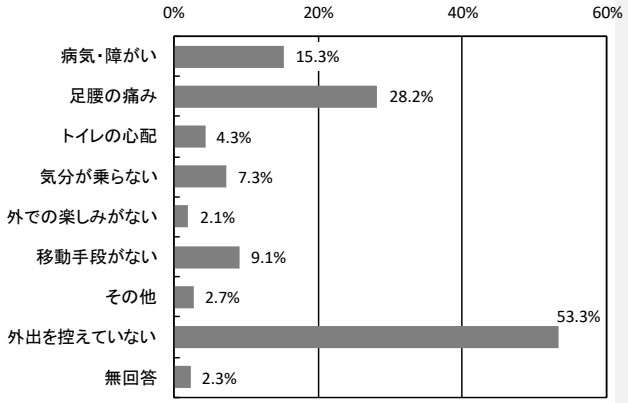
（%）

		サンプル数	ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答
全　体		439	8.2	18.2	54.2	18.7	0.7
性別	男性	135	8.1	18.5	52.6	20.7	－
	女性	304	8.2	18.1	54.9	17.8	1.0
年齢別	50歳未満	1	－	－	100.0	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－
	60～64歳	0	－	－	－	－	－
	65～69歳	7	－	14.3	57.1	28.6	－
	70～74歳	41	4.9	7.3	48.8	39.0	－
	75～79歳	80	5.0	11.3	57.5	25.0	1.3
	80～84歳	168	7.1	16.7	58.3	17.3	0.6
	85歳以上	142	12.7	27.5	48.6	10.6	0.7

問 13	以下の理由のため、外出を控えることがあれば教えてください。（○はいくつでも）

（N=439）

	回答数	割合
病気・障がい	67	15.3%
足腰の痛み	124	28.2%
トイレの心配	19	4.3%
気分が乗らない	32	7.3%
外での楽しみがない	9	2.1%
移動手段がない	40	9.1%
その他	12	2.7%
外出を控えていない	234	53.3%
無回答	10	2.3%



※複数回答

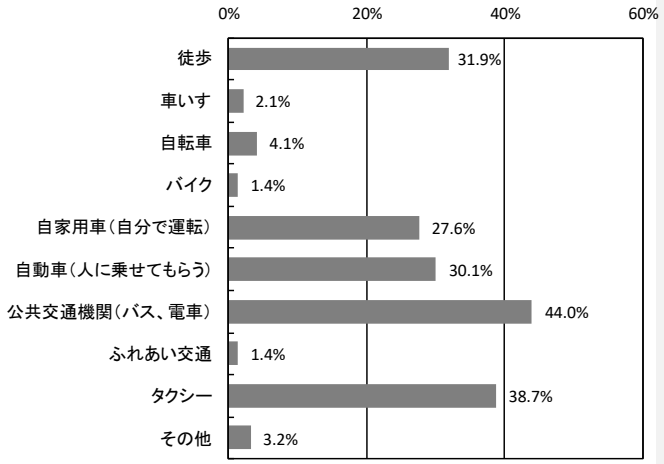
（%）

		サンプル数	病気・障がい	足腰の痛み	トイレの心配	気分が乗らない	外での楽しみがない	移動手段がない	その他	外出を控えていない	無回答
全体		439	15.3	28.2	4.3	7.3	2.1	9.1	2.7	53.3	2.3
年齢別	50歳未満	1	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—
	50～59歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	60～64歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	65～69歳	7	42.9	—	—	—	—	14.3	—	42.9	—
	70～74歳	41	7.3	9.8	—	7.3	2.4	4.9	—	75.6	4.9
	75～79歳	80	6.3	18.8	2.5	7.5	1.3	3.8	3.8	67.5	3.8
	80～84歳	168	13.7	27.4	4.8	8.9	2.4	8.3	2.4	53.6	1.8
	85歳以上	142	23.2	41.5	6.3	5.6	2.1	14.1	3.5	38.7	1.4

問 14	外出する際の主な移動手段は何ですか。（〇はいくつでも）

（N=439）

	回答数	割合
徒歩	140	31.9%
車いす	9	2.1%
自転車	18	4.1%
バイク	6	1.4%
自家用車（自分で運転）	121	27.6%
自動車（人に乗せてもらう）	132	30.1%
公共交通機関（バス、電車）	193	44.0%
ふれあい交通	6	1.4%
タクシー	170	38.7%
その他	14	3.2%



※複数回答

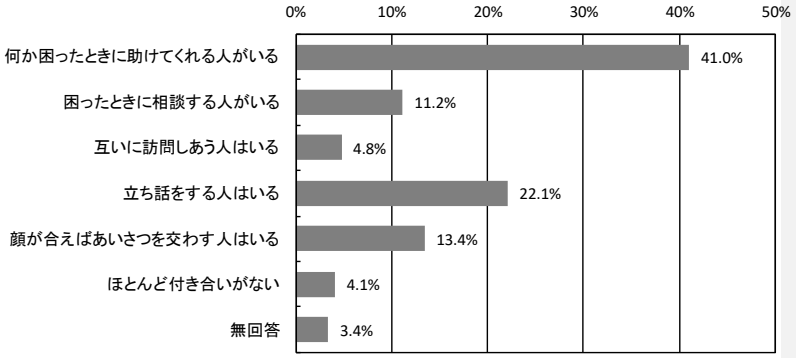
（%）

		サンプル数	徒歩	車いす	自転車	バイク	自家用車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	公共交通機関（バス、電車）	ふれあい交通	タクシー	その他
全　体		439	31.9	2.1	4.1	1.4	27.6	30.1	44.0	1.4	38.7	3.2
年齢別	50歳未満	1	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—
	50～59歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	60～64歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	65～69歳	7	14.3	28.6	14.3	14.3	14.3	28.6	42.9	—	28.6	—
	70～74歳	41	43.9	2.4	4.9	2.4	53.7	7.3	48.8	2.4	14.6	4.9
	75～79歳	80	37.5	—	6.3	2.5	37.5	18.8	51.3	1.3	25.0	3.8
	80～84歳	168	32.7	1.8	2.4	—	27.4	31.5	51.2	0.6	40.5	3.6
	85歳以上	142	25.4	2.1	4.2	1.4	15.5	40.8	30.3	2.1	52.1	2.1

問 15	あなたは、日頃、一番親しいご近所の人とどの程度の付き合いをしていますか。

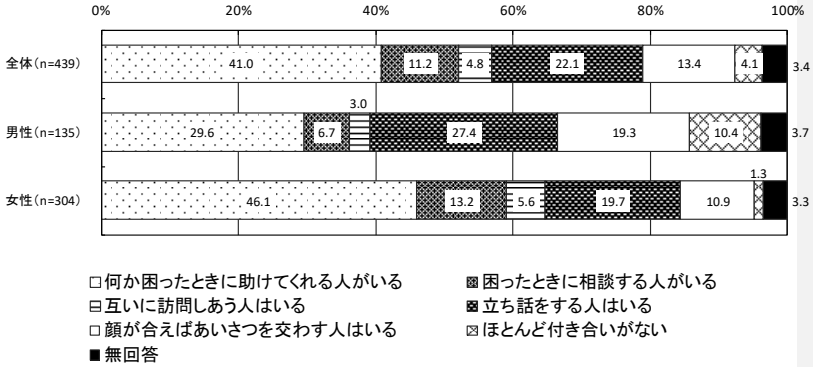
（N=439）

	回答数	割合
何か困ったときに助けてくれる人がいる	180	41.0%
困ったときに相談する人がいる	49	11.2%
互いに訪問しあう人はいる	21	4.8%
立ち話をする人はいる	97	22.1%
顔が合えばあいさつを交わす人はいる	59	13.4%
ほとんど付き合いがない	18	4.1%
無回答	15	3.4%



（%）

		サンプル数	何か困ったときに助けてくれる人がいる	困ったときに相談する人がいる	互いに訪問しあう人はいる	立ち話をする人はいる	顔が合えばあいさつを交わす人はいる	ほとんど付き合いがない	無回答
全　体		439	41.0	11.2	4.8	22.1	13.4	4.1	3.4
性別	男性	135	29.6	6.7	3.0	27.4	19.3	10.4	3.7
	女性	304	46.1	13.2	5.6	19.7	10.9	1.3	3.3

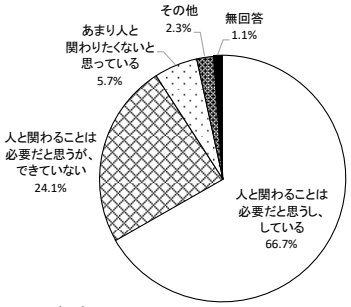


□何か困ったときに助けてくれる人がいる　▩困ったときに相談する人がいる
▤互いに訪問しあう人はいる　▩立ち話をする人はいる
□顔が合えばあいさつを交わす人はいる　▨ほとんど付き合いがない
■無回答

問 16	日常でのご近所付き合いについて、どのようにお考えですか。

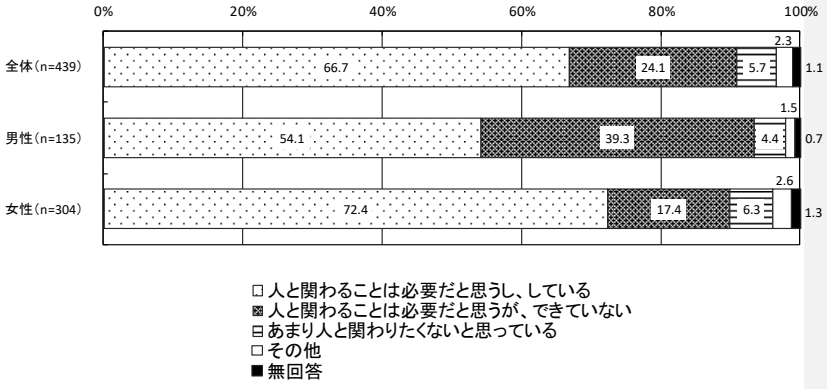
（N=439）

	回答数	割合
人と関わることは必要だと思うし、している	293	66.7%
人と関わることは必要だと思うが、できていない	106	24.1%
あまり人と関わりたくないと思っている	25	5.7%
その他	10	2.3%
無回答	5	1.1%



（%）

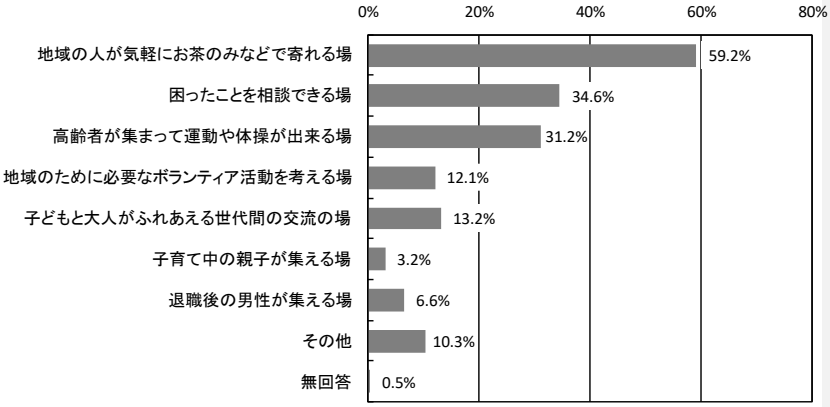
		サンプル数	人と関わることは必要だと思うし、している	人と関わることは必要だと思うが、できていない	あまり人と関わりたくないと思っている	その他	無回答
全　体		439	66.7	24.1	5.7	2.3	1.1
性別	男性	135	54.1	39.3	4.4	1.5	0.7
	女性	304	72.4	17.4	6.3	2.6	1.3



問 17	あなたの住んでいる地域にこれから必要だと思われる「住民同士がつながる場」とはどんな場だと思いますか。（〇はいくつでも）

（N=439）

	回答数	割合
地域の人が気軽にお茶のみなどで寄れる場	260	59.2%
困ったことを相談できる場	152	34.6%
高齢者が集まって運動や体操が出来る場	137	31.2%
地域のために必要なボランティア活動を考える場	53	12.1%
子どもと大人がふれあえる世代間の交流の場	58	13.2%
子育て中の親子が集える場	14	3.2%
退職後の男性が集える場	29	6.6%
その他	45	10.3%
無回答	2	0.5%



※複数回答

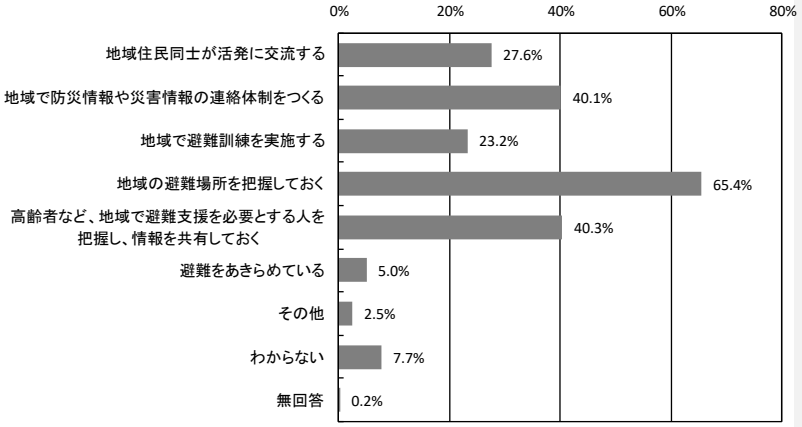
（%）

		サンプル数	地域の人が気軽にお茶のみなどで寄れる場	困ったことを相談できる場	高齢者が集まって運動や体操が出来る場	地域のために必要なボランティア活動を考える場	子どもと大人がふれあえる世代間の交流の場	子育て中の親子が集える場	退職後の男性が集える場	その他	無回答
全体		439	59.2	34.6	31.2	12.1	13.2	3.2	6.6	10.3	0.5
性別	男性	135	48.1	37.0	31.1	10.4	13.3	3.7	12.6	9.6	0.7
	女性	304	64.1	33.6	31.3	12.8	13.2	3.0	3.9	10.5	0.3
年齢別	50歳未満	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—	—
	50～59歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	60～64歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	65～69歳	7	42.9	42.9	14.3	—	14.3	14.3	—	14.3	—
	70～74歳	41	65.9	31.7	36.6	19.5	12.2	9.8	14.6	7.3	2.4
	75～79歳	80	66.3	30.0	28.8	11.3	13.8	—	2.5	5.0	—
	80～84歳	168	62.5	31.5	34.5	11.3	13.7	2.4	7.1	10.7	—
	85歳以上	142	50.0	40.8	27.5	11.3	12.0	2.8	5.6	13.4	0.7

問 18	災害時に地域住民が助け合って避難するためには、日頃から地域ぐるみでどのような準備をすればよいと思いますか。（〇はいくつでも）

（N=439）

	回答数	割合
地域住民同士が活発に交流する	121	27.6%
地域で防災情報や災害情報の連絡体制をつくる	176	40.1%
地域で避難訓練を実施する	102	23.2%
地域の避難場所を把握しておく	287	65.4%
高齢者など、地域で避難支援を必要とする人を把握し、情報を共有しておく	177	40.3%
避難をあきらめている	22	5.0%
その他	11	2.5%
わからない	34	7.7%
無回答	1	0.2%



※複数回答

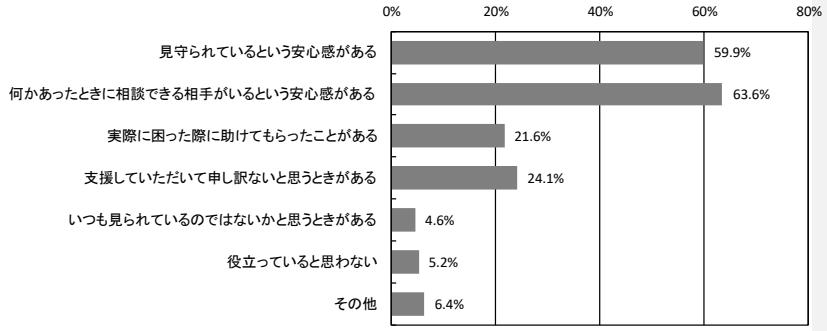
（%）

		サンプル数	地域住民同士が活発に交流する	地域で防災情報や災害情報の連絡体制をつくる	地域で避難訓練を実施する	地域の避難場所を把握しておく	高齢者など、地域で避難支援を必要とする人を把握し、情報を共有しておく	避難をあきらめている	その他	わからない	無回答
全　体		439	27.6	40.1	23.2	65.4	40.3	5.0	2.5	7.7	0.2
年齢別	50歳未満	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	65～69歳	7	14.3	42.9	14.3	57.1	57.1	28.6	14.3	－	－
	70～74歳	41	31.7	41.5	24.4	78.0	39.0	－	4.9	4.9	2.4
	75～79歳	80	25.0	36.3	23.8	68.8	40.0	1.3	－	6.3	－
	80～84歳	168	29.2	47.0	25.0	61.9	38.1	4.2	1.2	8.9	－
	85歳以上	142	26.1	33.1	20.4	64.1	42.3	8.5	4.2	8.5	－

問 19	「ふれあい活動（見守り、声かけ活動）」で、感じることを教えてください。（〇はいくつでも）

（N=439）

	回答数	割合
見守られているという安心感がある	263	59.9%
何かあったときに相談できる相手がいるという安心感がある	279	63.6%
実際に困った際に助けてもらったことがある	95	21.6%
支援していただいて申し訳ないと思うときがある	106	24.1%
いつも見られているのではないかと思うときがある	20	4.6%
役立っていると思わない	23	5.2%
その他	28	6.4%



※複数回答

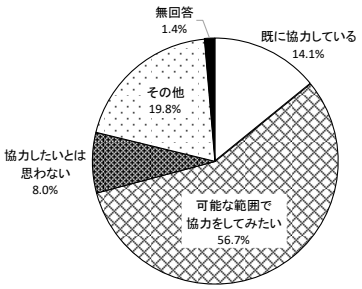
（%）

		サンプル数	見守られているという安心感がある	何かあったときに相談できる相手がいるという安心感がある	実際に困った際に助けてもらったことがある	支援していただいて申し訳ないと思うときがある	いつも見られているのではないかと思うときがある	役立っていると思わない	その他
全　体		439	59.9	63.6	21.6	24.1	4.6	5.2	6.4
年齢別	50歳未満	1	—	—	100.0	100.0	—	—	—
	50～59歳	0	—	—	—	—	—	—	—
	60～64歳	0	—	—	—	—	—	—	—
	65～69歳	7	14.3	28.6	—	—	—	28.6	42.9
	70～74歳	41	46.3	68.3	17.1	9.8	7.3	2.4	4.9
	75～79歳	80	62.5	61.3	15.0	20.0	7.5	5.0	2.5
	80～84歳	168	64.9	64.9	21.4	23.8	1.8	4.8	6.5
	85歳以上	142	59.2	64.1	27.5	31.7	5.6	5.6	7.0

問 20	あなたは地域の行事や活動に協力してみたいと思いますか。

（N=439）

	回答数	割合
既に協力している	62	14.1%
可能な範囲で協力をしてみたい	249	56.7%
協力したいとは思わない	35	8.0%
その他	87	19.8%
無回答	6	1.4%



（%）

		サンプル数	既に協力している	可能な範囲で協力をしてみたい	協力したいとは思わない	その他	無回答
全　体		439	14.1	56.7	8.0	19.8	1.4
性別	男性	135	16.3	54.8	7.4	20.0	1.5
	女性	304	13.2	57.6	8.2	19.7	1.3
年齢別	50歳未満	1	－	100.0	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－
	60～64歳	0	－	－	－	－	－
	65～69歳	7	－	42.9	－	57.1	－
	70～74歳	41	14.6	61.0	4.9	19.5	－
	75～79歳	80	15.0	67.5	6.3	8.8	2.5
	80～84歳	168	14.9	55.4	9.5	19.6	0.6
	85歳以上	142	13.4	51.4	8.5	24.6	2.1

宗方校区社会福祉協議会　地域福祉活動計画

発　行　日　令和元年１２月
発　　行　宗方校区社会福祉協議会
大分市社会福祉協議会　地域福祉課　地域福祉係
〒８７０－０８３９
大分市金池南１丁目５番１号　ホルトホール大分４階
℡　０９７－５４７－７４１８